



ピックス

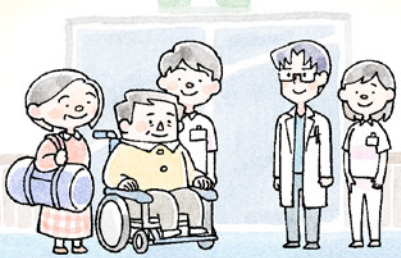
PICS

集中治療後症候群

をご存じですか？

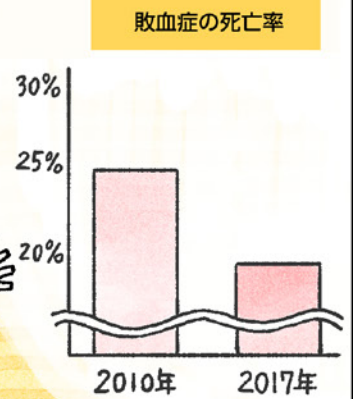


集中治療医学の進歩に伴い
より多くの重症患者さんを
ICUで救命できるよう
になりました



例えば
ICUで治療を受ける
代表的な疾患である
敗血症について

日本における
死亡率は
年々減少傾向を
示しています#



Imaeda et al. Crit Care 2021.

しかし…

最近になって
ICUを退室した患者さんの多くが
元の生活に戻れていない
ことがわかってきたのです

ARDS^{※1}患者の約50%は1年後
普段の生活に介護者の支援が
必要になっている###

ARDS患者は
退院後1年以内に
職場復帰できていない###

敗血症でICU管理した患者の
50-75%に運動機能障害##

ICU退室患者の10-50%に
精神障害##
(うつ 不安 睡眠障害 PTSD)

ICU退室患者の
30-80%に認知機能障害##



※1 ARDS: Acute Respiratory Distress syndrome

##Harvey et al. Crit Care Med 2016 ### Briegel et al. Der Anaesthesist 2013

加えてICU入室した
患者さんのご家族にも
うつやPTSD^{※2}といった
精神症状が
退院後も長く認められる
ことがわかってきました



患者さんが退院して90日経っても
48%の家族が
うつ、不安、PTSDなどの
精神的ストレスを経験しています####

詳しくは中面へ

※2 PTSD: Post-traumatic stress disorder.

Harlan et al. Chest 2020

このようにICUに入室した患者さんがICUで治療を受けている間のみならず退院したあとに生じる運動機能障害や認知障害・精神障害を

集中治療後症候群

ピックス
PICS
post-intensive care syndrome

患者さんのICU入室を契機に家族に起こる精神症状を

家族の集中治療後症候群

ピックス エフ
PICS-F
post-intensive care syndrome - family

と呼びます

運動機能障害

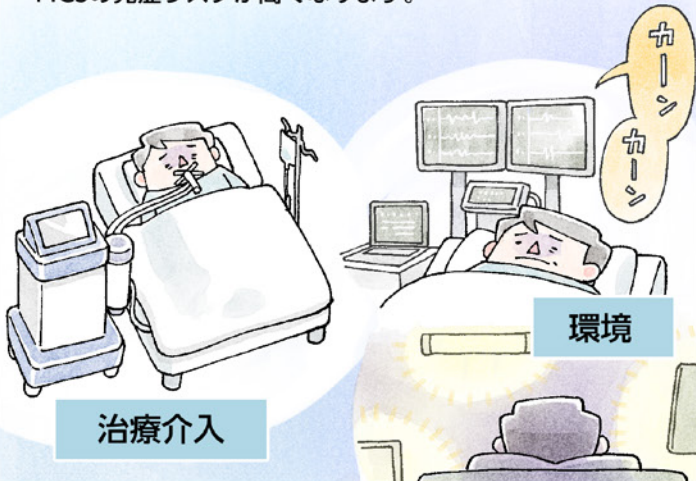
精神障害

認知機能障害

精神障害

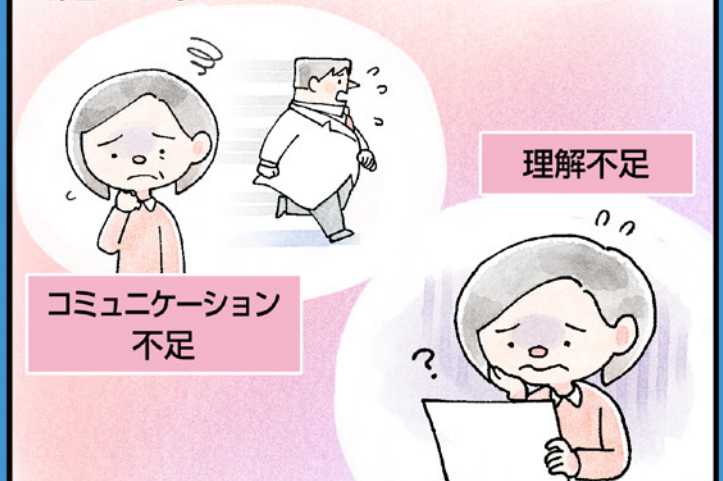
ピックス PICSの発症要因

治療介入^{※3}そのものがリスクとなる場合や、ICU独特の光や音、閉鎖空間といった環境から来るものがよく知られています。ICUでの長期入室はこれらのリスクファクターに暴露される機会が必然的に増えるのでPICSの発症リスクが高くなります。



ピックス エフ PICS-Fの発症要因

身内の方が急に重症な疾患に罹患したこと、患者さんと意思疎通がとれないこと、患者さんの病態を家族が十分に理解できていないこと、医療従事者とのコミュニケーションが不足していること、家族のサポート体制が乏しいことなどが原因として挙げられます。



※3 人工呼吸管理、ECMOなどの補助循環装置の装着、鎮静薬、ステロイド、抗菌薬、インスリンなど。

ピックス エフ
PICS/PICS-Fの問題は
症状が出現しても
確立された治療法が
ないことです

予防

だからこそ
「予防」することが
大切です

そこでICUでは**ピックス**を予防するために
ABCDEFGHバンドルの実施に取り組んでいます



A Assess, prevent, and manage pain

痛みの評価・予防・管理



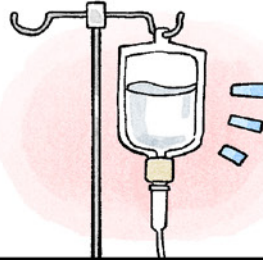
B Both spontaneous awakening and breathing trials

自発覚醒トライアルと自発呼吸トライアル
 (人工呼吸器早期離脱を目指す)



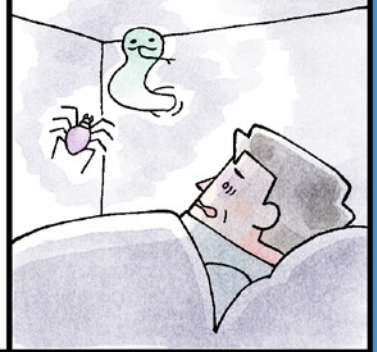
C Choice of analgesia and sedation

適切な鎮静薬・鎮痛薬の選択
 (十分な鎮痛、せん妄リスクの高い鎮静薬を避ける)



D Delirium assess, prevent, and manage

せん妄のモニタリング・予防・介入



E Early mobility and exercise

早期離床と運動



F Family engagement/empowerment

家族の関与と家族ケア
 (家族面会は積極的に)



G Good handoff communication

ピックス PICS 関連情報の
 申し送り

(病棟・病院が変わってもシームレスなケアを可能にするための情報共有)



H Handout materials on PICS and PICS-F

書面による **ピックス** PICS に関する情報提供
 (パンフレットなど)



これらを組み合わせて適切に行うことで
 患者さんの予後が改善することが
 知られています#



- 自宅退院できない患者の減少
- せん妄の発生低下
- ICU再入室低下
- 死亡率低下



重症患者さんとそのご家族が
元の生活に近い状態に回復することを目指して
ICUでは多職種でPICS/PICS-F対策に
取り組むことが求められています

メディエーター

臨床工学技士

看護師

メディカル
ソーシャルワーカー

医師

管理栄養士

薬剤師

理学療法士

医療従事者の皆さまに
置かれますは
PICS/PICS-Fを
ご理解いただき

患者さんとそのご家族への
サポートを
宜しくお願い申し上げます

監修：東京医科歯科大学病院集中治療部 漫画：株式会社 JOB コミ



東京医科歯科大学病院

TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY HOSPITAL

東京医科歯科大学病院 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45
東京医科歯科大学病院 集中治療部 PICSプロジェクトチーム